

十勝農業の今を知り 未来を読み解く

高まる道産小豆需要
消費拡大に向け取り組み盛ん

道産小豆の需要が高まり、作付面積の拡大が重要視されている。コロナ禍で消費は一時的に落ち込むが、食品メーカーが原材料を輸入物から道産へと切り替えており、安定供給が求められるためだ。

道産小豆は風味の良さからメーカーの引き合いが強いが、2018年の天候不順による不作もあり在庫が減少し輸入への置き換えが進んでいた。一方で近年作付けを推進していた効果もあり、20年産は全道2万2100畝(前年比5・7%増)で生産。生産量が平年を上回ったほか、新型コロナの流行で土産物の小豆需要が落ち込み、在庫が増えた。「ブランド」の道産小豆が確保しやすい環境になり、21年春ごろか



需要が高まる道産小豆



小豆作付面積拡大を呼びかけるホクレン職員(4月)

ら全国の製あん・菓子メーカーで原材料を道産に再び切り替える動きが出始めた。ホクレン帯広支所には、

よると、今年3月まで半年間の小豆出荷数量は前年同期比36%増となった。

農家が不安視するのは消費の低下。土産需要が減ったことで小豆価格が落ち込み、結果として21年産は作付けが減少(全道で1万9000畝)した。ホクレンは「道産小豆の供給量に不

安が生じれば、再び海外産に需要が流れてしまうことになりかねない」とし、作付面積の拡大を呼びかける。

消費拡大で生産者を支えようとする動きもある。道農政事務所帯広地域拠点では小豆の需要を喚起する「あずきにキュン♡」の活動を行っている。これまで小豆料理などを紹介する動画やカレンダーを作ったほか、今年6月には小豆や牛乳などを題材とした川柳を職員から募集。「ヨーグルト あんことともに なおうまくし」など43句が集まった。うち16句を厳選してポスターとして発行したほか、川柳の音声読み上げにも取り組んだ。担当者は「職員一人ひとりの思いが届き、少しでも需要回復のお手伝いができれば」と話している。

道農政事務所が作成した川柳のポスター

BERTHOUD

牽引式スプレーヤ

帯広入荷済!!

NEW ARRIVAL

実機確認可!!

高速散布対応
10km/h以上で散布可!

VANTAGE

タンク容量: 4,300L
散布幅: 32m
対応: 対地センサー
セクションコントロール

※仕様により異なります。

KIORITZ

乗用管理機

キャビンタイプ

根際散布装置取付可

RVHC900/210

タンク容量: 1,000L
散布幅: 9.3~15.9m
定格出力: 22.7PS

KIORITZ

マウント式スプレーヤ

NEW ARRIVAL

マウント式
スライドコントロール搭載
スプレーヤ

BSM1610SP-MEY

タンク容量: 1,600L
散布幅: 14.1~21.9m
乾燥質量: 885kg

KIORITZ

ICTを駆使し、
もっと高精度、
高効率な作業を実現。

牽引式ブームスプレーヤ

BSQ
series

PRECISION
スライドセクションコントロール

スライド油圧系統を制御することで自動でブームが伸縮、先・中ブーム、元ブーム、センターブームの5セクションコントロールに加えスライドコップの開閉により変形圃場での重複散布を抑制します。

- ▶▶▶ 従来のセクションコントロールとは異なり、スライド油圧系統(伸縮)を制御
- ▶▶▶ セクションコントロール+スライドコントロールで重複散布を制御
- ▶▶▶ 圃場外周境界線を登録することで変形圃場でのスライド油圧操作を自動化
- ▶▶▶ リアルタイムに散布幅を検知。面倒なノズル設定やプログラム設定が不要

圃場外周境界線に沿ってスライドブームが自動で伸縮します。(使用にはRTK/GNSSとの接合が必要)

YAMABIKO

やまびこジャパン(株) 帯広営業所 TEL 0155-37-2211
帯広市西23条北1丁目3-11 FAX 0155-37-6327